

科目名	ベーシックレッスン1						年度	2025	
英語科目名	Basic lesson 1						学期	前期	
学科・学年	ミュージックアーティスト科ヴォーカリストコース 1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	尾崎 久美子/横山 愛実/大山 桂祐/MALIYA/大森 裕斗/三上 かおる/ Haruna/鳥居 隼/渡部 紗矢/田中 綾美/鈴木 一義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン他	
【科目の目的】 プロのボーカリストとして必要不可欠な基礎力を身につけ、アーティストとして自立するためのスキルを習得します。基礎レッスンをうるとともに、音楽全般に関する知識を学び、シンガーソングライター、バンドボーカリスト、弾き語りなど一人ひとりのスタイルに合わせたトレーニングを実施。また、各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【科目の概要】 この授業は、ボーカリストとして必要なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「ボーカルレッスン1」「ボーカルレッスン2」「ボイストレーニング」「ボーカルアンサンブル」「コーラス」「楽器レッスン」「DTM」の7つに分かれます。※下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。※楽器レッスンは「Dance」「Guitar」「Piano」の内一つを選択する。									
【到達目標】 A. ボイスエクササイズを実践できる B. 発声のタイプとメカニズムを理解できる C. ステージ上の音量バランスを調整できる D. 3声のコーラスワークができる E. 発表会でベストパフォーマンスできる									
【授業の注意点】 専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ボイスエクササイズを実践でき、日常的に継続できる		ボイスエクササイズを実践できる		ボイスエクササイズを実践できない				
到達目標 B	発声の基本的なメカニズムを理解でき、簡潔に説明できる		発声の基本的なメカニズムを理解できる		発声の基本的なメカニズムを理解できない				
到達目標 C	ステージ上の音量バランスを調整でき、細かい指示を出せる		ステージ上の音量バランスを調整できる		ステージ上の音量バランスを調整できない				
到達目標 D	3声のコーラスワークができ、周りとのバランスを意識できる		3声のコーラスワークができる		3声のコーラスワークができない				
到達目標 E	発表会でベストパフォーマンスでき、次の目標を設定できる		発表会でベストパフォーマンスできる		発表会でベストパフォーマンスできない				
【教科書】									
【参考資料】 毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする									
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン1			年度	2025	
英語表記		Basic lesson 1			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	レベルチェック	レベルチェックパフォーマンス	1	パフォーマンス	ステージでベストパフォーマンスができる		
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3	講師からの講評	自分の課題を発見できる		
2	ボーカルレッスン1①	自分の歌声について知る	1	声域チェック	自分の声域を把握できる		
			2	歌声の特徴	自分の声を録音し、声の特徴を把握できる		
			3	目標設定	ボーカリストとして目指す方向性の設定ができる		
3	ボーカルレッスン1②	歌う前のウォーミングアップ	1	リップロール/タングトリル	リップロールとタングトリルをスムーズにできる		
			2	ポルタメント	ポルタメントをスムーズにできる		
			3	ストレッチ	歌う前の適切なストレッチが出来る		
4	ボーカルレッスン1③	基本的な発声トレーニング	1	正しい姿勢と脱力	正しい姿勢と脱力ができる		
			2	ボイスエクササイズ	それぞれに適したボイスエクササイズを実践できる		
			3	継続	ボイスエクササイズを通して安定した発声ができる		
5	ボイストレーニング①	声帯について学ぶ	1	声帯の位置	声帯の位置について理解できる		
			2	声帯の筋肉	声帯の筋肉の種類について理解できる		
			3	ボーカルフライ	声帯の位置を実際に感じ取ることができる		
6	ボイストレーニング②	様々な発声のタイプについて学ぶ	1	発声のタイプ	ライトチェスト/フル/フリップなどのタイプを理解できる		
			2	地声と裏声	地声と裏声の違いを理解できる		
			3	男女の音域	男女の音域の違いを理解できる		
7	ボイストレーニング③	様々な発声のメカニズムについて学ぶ	1	チェスト	チェストボイスのメカニズムを理解できる		
			2	ヘッド	ヘッドボイスのメカニズムを理解できる		
			3	ミックス	ミックスボイスのメカニズムを理解できる		
8	ボーカルアンサンブル①	課題曲練習	1	発声練習	発声練習によるウォームアップができる		
			2	課題曲理解	課題曲のメイン、コーラスラインを理解できる		
			3	講師指導	歌唱表現、リズムの意識などを理解できる		
9	ボーカルアンサンブル②	アンサンブル発表会のリハーサル	1	モニターバランス	モニターの音量と向きを調整できる		
			2	バンドの音量	ステージ上の楽器の音量バランスを調整できる		
			3	グルーブ	生バンドのグルーブを感じ取ることができる		
10	ボーカルアンサンブル③	アンサンブル発表会のパフォーマンス	1	パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる		
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3	講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
11	コーラス①	課題曲練習	1	聞き取り	周りのハーモニーを聴きながら自身のメロディーラインを聞き取れる		
			2	ハモリ	メロディーを聞き頭の中でハーモニーラインを鳴らすことができる		
			3	実演	グループでのコーラスワークができる		
12	コーラス②	コーラスワークについての理解を深める	1	表現	楽曲を理解し、オブリガードやウーアーをつけることができる		
			2	構築	声のブレンディングとハーモニーの構築ができる		
			3	ジャンル	ポップ、ジャズ、ゴスペルに触れそれぞれの表現を実践できる		
13	コーラス③	アンサンブルでのコーラスパフォーマンス	1	パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる		
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3	講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
14	発表会準備	発表会の準備をする	1	パフォーマンス指導	ステージパフォーマンスを改善できる		
			2	歌唱指導	歌唱について改善できる		
			3	オケ制作	使用するオケを制作、準備できる		
15	発表会	発表会を実施する	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等